

滋賀県第28回中学生広場「私の思い2025」県広場

令和7年8月23日(土) 高島市民会館

8月23日(土)に、滋賀県第28回中学生広場「私の思い2025」県広場を開催しました。本広場は、人格を形成する上で重要な時期にある中学生が、日頃考えていることや感じていることを広く県民に訴えることを通して、誇りと自覚をもち、自主性を伸ばすとともに、中学生の思いを聞くことによって、県民の中学生に対する理解と関心を深める契機とすることを目的としています。今年度の県広場には岸本副知事にも来賓としてご出席いただきました。今年度は、県内99校、24,774人の中学生から意見作文の応募があり、その中から選ばれた代表の12名の皆さんの意見発表とともに、高島市の中学生実行委員の皆さんを中心とした運営がなされ、進行や案内など様々な場面で、中学生の活躍する様子が見られました。



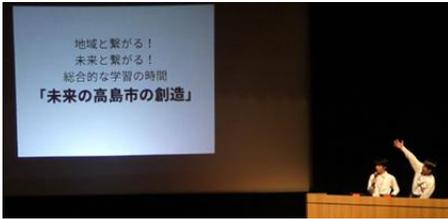
【12名の意見発表者と作文タイトル】

(敬称略・優良賞は県広場の発表順)

賞	学校名	学年	発表者	題名
最優秀賞(知事賞)	栗東市立栗東西中学校	3	長井 四季	自分らしく生きる
優秀賞(議長賞)	栗東市立栗東中学校	3	金 芸琳	母国に誇りを持つ
優秀賞(教育長賞)	近江八幡市立八幡中学校	1	鍋谷 彩華	ありがとう
優良賞(会長賞)	長浜市立北中学校	3	今井 柑那	近江商人の思いを伝える
	高島市立マキノ中学校	3	落川 温心	決断するために
	大津市立瀬田北中学校	3	柳川 紬生	日本の米作り「今」と「これから」
	近江八幡市立安土中学校	3	中島 杏奈	私の一番身近で、一番のライバル
	東近江市立愛東中学校	3	藤関 心春	私の一歩、地域の一歩
	長浜市立びわ中学校	3	東川 絢音	少しの勇気
	長浜市立木之本中学校	3	本多すみれ	美しく貴重な今を生きる
	彦根市立東中学校	3	墨 柚希	「私」の音楽
大津市立皇子山中学校	2	高畑 心美	空気を読めない私	

活動発表（高島市内6中学校の特色ある取組について）

活動発表は、高島市内6中学校の発表でした。地域とのつながりを大切にした活動や、高島市の将来を見ずえた学習など、6中学校の特色ある取組をわかりやすく説明されました。参加者のアンケートでは、「6校がそれぞれの学校の特色を生かして、生き生きと取り組んでいた。特に園児、小学生との交流、地域の方とのトークフォークダンスは今後のまちづくりに向けて大切な活動だと感じた。」という感想をいただきました。



岸本副知事と語ろう会

前年度に引き続き、意見発表者の皆さんと「岸本副知事と語ろう会」を実施しました。12名の中学生の皆さんは、自己紹介の後、「私のshiga推し」や「10年後、こんな滋賀にしたい」について、自分の意見をはきはきと岸本副知事に伝えました。岸本副知事は、滋賀県がとても住みやすい場所であると感じていること、また、滋賀の将来について、自分の意見をしっかりと述べる事ができる中学生の姿を見て、頼もしく感じていると話されました。



表彰式



最優秀賞【知事賞】
栗東西中学校 長井 四季さん



優秀賞【議長賞】
栗東中学校 金 芸琳さん



優秀賞【教育長賞】
八幡中学校 鍋谷 彩華さん



【12名の発表者の皆さん】



【高島市の中学生実行委員の皆さん】

【参加者のアンケートより】（一部抜粋）

- *自身のことを踏まえて、いろいろな角度から社会を見つめる中学生の意見発表には、いつも感動と同時に深く考えさせられる。そして、最後には元気になれる気がする。もっと多くの皆さんにぜひ聴いてほしい。
- *中学生が経験してきたこと、気持ちの変化、社会に対する考え方などを、生の声で聴くことができた。それを聴くことで自分の考えもアップデートできた。
- *地元の中学生在が実行委員となり運営していくことは、中学生の主体性を育む活動として重要な要素になっている。意見発表をしてくれた12名の子どもたちが各地域で青少年育成活動に関わってくれることを今後期待したい。